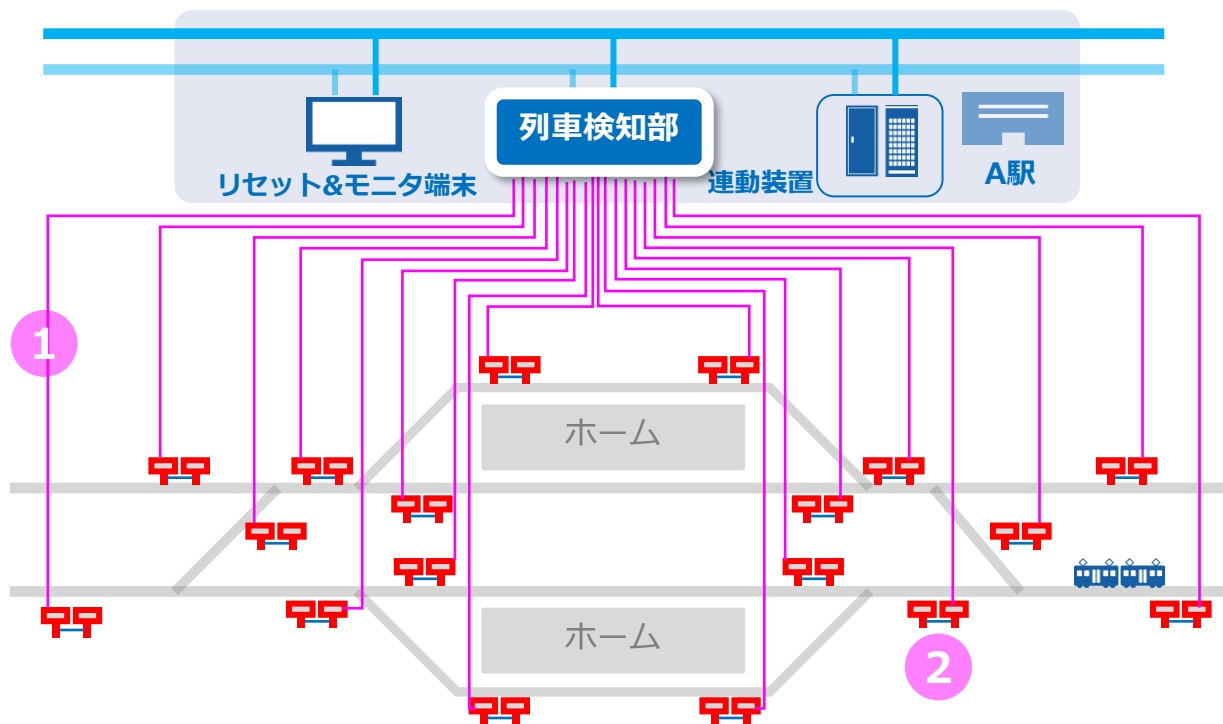


車軸検知式閉塞システム

開発中

従来システムを改良し、ネットワークのシリアル化等により、
さらに閉塞論理の集中化、設備のスリム化を実現。



1 構成/カスケード接続

列車検知部+拡張部2台
あたりの検知子数

: 最大48箇所

一体型1個置き/箇所

2 検知子



●片持ちタイプ

●振動規格:100G対応

車軸検知式閉塞システム

開発中

列車検知を車軸式にすることで現場機器を削減。
閉塞論理の集中化、設備のスリム化を実現。

項番	項 目	新方式（開発中）
1	適用線区	・ 構内軌道回路、中間軌道回路、踏切 ※軌道内列車分割検知可
2	列車検知方式	・ 軸数カウント ・ 出力：TR出力/軸数出力（選択可）
3	IF/伝送方式	・ 検知子—列車検知部（直接接続）：車軸検知信号 ・ 列車検知部—連動/ATP装置：イーサネット/接点IF ※連動、閉塞論理は、連動装置、ATP装置が担う。
4	プリセット	・ イーサネット／接点IFを介して実施
5	施工性	・ 閉塞境界あたり：検知子×1組 ・ 連動装置とのイーサネットIF：架間ケーブルの削減 ※検知子-検知論理部間の光ケーブル化不可
6	拡張性	・ 列車検知部間の通信（イーサネット）により大規模構内、大規模線区（駅間通信）にも対応可能
7	保守性（オプション）	・ 遠隔監視可能：Traio対応 ※弊社標準